



SSH 生徒研究発表会

2月9日(火)、本校で開催されました。全校生徒対象で、午前中は講演、午後は1年次生全員が探究活動の成果についてポスター発表し、2年次生と質疑応答を行いました。

○講演 「砂の科学—Sandlogy—」 講師 筑波大学大学院非常勤講師(元教授) 久田健一郎先生

生徒全員を対象に、筑波大学大学院の久田先生からZOOMによる講演をしていただきました。「砂の科学」という演題で「小さな砂粒が我々に教えてくれるもの」をテーマに、多様な観点から砂についての講義をいただきました。砂は私たちの住む場所の地形や文化に深く関係していること、さらに砂と人類との関わりとして、砂丘や砂浜の風景が人々の癒しの場となっている精神文化的側面、さらに産業を支える資源的側面についても触れられました。砂は我々の身近にあるが、価値ある天然資源であり、天然資源の保全、再利用・有効利用を考える「砂学」の必要性を提唱されました。

○生徒研究発表会 ～ポスターセッション～

本校の体育館をメイン会場とし、1年次生全員による課題研究のポスターセッションをしました。10月末に実施された中間発表会での質疑応答の内容やアドバイスシートのコメントを参考に、各班とも探究活動を進めていきました。

1,2年次生全員と、教員がポスターセッションに参加し、質疑応答では活発に意見交換が行われました。ポスターセッション終了後、神戸大学の蛸名邦禎先生からポスター発表及び探究活動に関する講評をいただきました。その後、アドバイスシートを読み、探究活動の振り返りを行いました。限られた時間でしたが研究の成果を発信し、さまざまなコメントをもらえたことは、大きな達成感につながりました。



○SSH第2回運営指導委員会

生徒研究発表会の後、令和2年度第2回SSH運営指導委員会を開催しました。1年次である今年度の取り組みと成果報告、今後の取り組みについて、運営指導委員の先生方からご意見、ご指導をいただきました。

ひょうご高校生 環境・未来リーダー育成プロジェクト

複雑化・多様化する地球環境問題に取り組む、「ひょうご高校生環境・未来リーダー育成プロジェクト」が実施され、姫路東高校から7名が参加しました。成果発表として、1月23日(土)「脱炭素社会実現のための活動案」の発表会があり、本校の参加者はテーマ別に分かれ、自治体のPR方法についての提案、環境ビジネスの提案、環境行動の仕掛けづくりについて、高校生の視点から発表を行いました。各班、趣向を凝らした説得力のある発表でした。

他校の高校生とディスカッションを深め、活動案を発信できたことはいい経験となりました。



科学部の活動と実績

- 第15回筑波大学科学の芽賞 奨励賞(紫外線班)
- 第19回神奈川大学全国高校生理科・科学論文大賞 優秀賞(プラズマ班):2年連続全国2位
努力賞(砂粒班)、団体奨励賞(全員)
- 第5回東京女子医科大学論文コンテスト奨励賞(プラズマ班)

3月の予定

- 3月13日(土) 日本物理学会発表(ZOOM) 科学部プラズマ班
- 3月19日(金) 日本農芸化学会発表(ZOOM) 科学部ゴキブリ班
- 3月20日(土) 日本生態学会発表(ZOOM) 科学部ゴキブリ班
- 3月19日(金)~20日(土) 筑波研修旅行(1泊2日) 1年次生希望者
- 3月27日(土) 小学生を対象にした「わくわく実験教室」 科学部
- 3月31日(水) 京都府立医科大学と同志社大学を結んだ「科学倫理ワークショップ」(希望者)